

【講師の先生による指導講評】

〔白百合女子大学 特別先任准教授 根本 裕美 先生〕

- ・児童たちがよく話をしていた。理由をつけて言うこともできていた。
- ・児童が児童自身のために何をするか明確なイメージをもてる指導をする。丁寧話をし見せることが大切である。
- ・視点の設定は、整理分析のための効果的な手法ではない。視点に「その他」を設けてしまうと、児童の思考は止まってしまう。決められた視点への分類に苦戦している場合には「両方でもいいんじゃない」と、具体的なイメージをもち、適切に声掛けができるようにする。

【研究の様子】

- 付箋を用いた話し合いを行い、3つの視点に分類をするというゴールを明確に示したことで、児童たちが活発に活動をしていた。
- 話し合いの時間を十分にとったことで、グループで個々の意見を話し合いながら分類することができた。

【研究授業の様子】

